

H u g (松川町)

現在 (R3年度) の主な取組

学習支援	食事提供	生活支援	その他
フリースクール (平日9時～15時) 週3日 ※小学生 (宿題サポート) 週5日 ※中学生 (個別サポート)	週1日(こどもカフェ) 水曜日17:00～18:30 高校生以下 無料 ※大人200円 多世代交流カフェ	相談支援: 随時 就労支援: 相談に応じて対応 無料	・ワークショップ ・ママカフェ ・地域と連携した フードドライブ及び、 フードパントリー 等



成果

- ・教員OBの学習サポーターが増え、南信教育事務所との連携も深まった。
- ・学校との連携強化(R3年度より、日中の学習支援が正式に出席扱いとして認められることになった)
- ・行政の福祉課と連携し、若者の居場所支援として18歳以上の相談体制が構築できた。

主な課題

- ・フリースクールとして、学校や地域との具体的な連携
- ・自立運営に向けた経営計画(利用料金と運営費との折り合い)
- ・新型コロナウイルスの影響
 ママカフェの開催の減少(現在は2～3か月に1回)
 カフェの収益が減少。テイクアウトやお弁当販売を更に拡大したい。
 こどもカフェはお弁当配布に切り替え、小規模実施中。

地域資源

南信教育事務所 南信州地域振興局
 松川町及び町内の小・中学校
 松川高校ボランティア部 竹村工業
 まいさぼ飯田 町社会福祉協議会
 民生児童委員協議会、上片桐区諏訪形自治会
 下伊那こども家庭支援センターここ

子どもの様子

- ・コロナ禍により生活習慣等が乱れて、不登校や学習意欲の減少に繋がった家庭からの相談が増えた。
- ・地域の学習サポーターの方々と常に情報共有を行いながら、1人1人のやり方で学習ができている。
- ・こどもカフェは、コロナ禍で利用人数は減ったが、居場所や食事を必要としている家庭の利用が欠かさず
 にあり、松高ボラ部の協力も非常に大きい。